

ご挨拶

第 30 回岐阜県理学療法学会 学会長
中嶋 久雄
(医療法人香徳会 関中央病院)

第 30 回岐阜県理学療法学会を令和 2 年 2 月 16 日に中部学院大学で開催させていただくこととなりました。開催にあたりご協力いただいた方々に心よりお礼申し上げます。

今回は令和初の学会であり、会場も岐阜県理学療法士会では初となる大学を使用させて頂いての開催となります。会場は高速のインターからも近く、広々としており設備も充実しております。岐阜県の中心に位置しており遠方からも参加しやすくなっております。学会のテーマは「地域に繋げる五輪の輪 ～リハビリテーションの今後の展望～」といたしました。我々理学療法士は常に学び続ける姿勢で変化に対応することが求められます。岐阜県理学療法士会も会員数が 1600 名を超え大きな組織に成長しています。しかし、その大半は経験年数 10 年以下の若い療法士が占めています。今後地域で活躍し続けるためにも変化に対応できる柔軟性が求められます。特別講演では長崎大学の沖田実教授をお招きし「新たな症候概念“運動器不活動症候群”のメカニズムと治療戦略」についてご講演頂きます。最新の情報を学び今後の臨床に役立てていただきたいと思います。

今回の学会からセレクション演題として開会式後にメイン会場にて優秀演題候補の発表を行います。表彰は閉会式にて行いますので発表者はもとより多くの方に注目していただき最初から最後まで学会を楽しんでいただければと思います。

不慣れな事もあり至らない点もあるかもしれませんが参加される皆様にとって有意義な学会になりますよう運営委員一同心より願っており皆様のご参加を心よりお待ちしております。